



第3回のテーマはこちら

## 「せん妄について整理しよう！」

### ～抗精神病薬は眠らせる薬？～

せん妄とはどんな症状？と聞かれたらどう答えるでしょうか？

せん妄とは、注意障害や認知障害を伴う**意識障害**です。

必ずしも叫んだり、暴れたりすることではありません。

せん妄は直接因子、準備因子、促進因子の3つの因子から考えられます。

直接因子	原疾患、薬剤、感染など	治療により改善を目指す
準備因子	高齢、脳疾患、重症/侵襲的治療など	患者の持つ性質なので介入しづらい
促進因子	痛み、睡眠障害、ストレスなど	<b>看護ケアで予防できる</b>

せん妄を予防するには促進因子を除去、軽減する必要があります。

看護ケアの例としては

- ・痛み、便秘、抑制などの身体的不快を取り除く
- ・点滴やモニター類の整理や除去
- ・明るさや室温、シーツのしわなど室内環境の調整 など

普段からやっていることですが、せん妄予防になると意識するだけでケアの意味も変わるのではないかと思います。

また、眠れないときに抗精神病薬を投与する指示がよく出ると思います。

小児科で主に使用する**セレネース、リスパダール**は鎮静作用は弱く、本来は眠らせる薬ではありません。

活動性を抑えることで、穏やかになった結果として入眠を促すイメージです。

そのため、**薬剤投与後の評価は眠れているかではなく、穏やかになれたか**が重要となります。

眠ることを目標に抗精神病薬を使用すると効果がないかのように勘違いする可能性があるので注意しましょう。